

赤ちゃんと一緒に暮らせるのか知りたいです。

ペットを飼っていて「お腹の子に悪いからペットを飼うのをやめなさい」と言われたら・・・。今一緒にいるのに、赤ちゃんが生まれた後、いったいどうしたらいいのでしょうか？



当院で出産された猫好きなMさん。一か月健診の時、「ちょっとゆう抱っこしてオッパイをあげているので、家の年寄りの方の猫が焼き餅をやいて体調を崩し、お薬を飲んだりしています。最近少し落ち着いてきましたけど、猫に気を遣いながら生活しています(笑)」とおっしゃっていました。

最近、Mさんとお話しする機会があり、猫と赤ちゃんの後は・・・。「猫に助けられてきたと感じます。赤ちゃんが泣いていると猫がキッチンに呼びに来てくれたり、赤ちゃんが寝返りをする頃、赤ちゃんの横で「ロン」と寝返って、赤ちゃんの方が教えてもらっていたようです。」と、微笑ましいエピソードを伺うことができました。

「Mさん提供による写真」



妊婦さん注意「トキソプラズマ」

トキソプラズマはネコ科動物を終宿主とする人畜共通寄生虫の一つです。**妊娠中の初感染**は、胎盤を通し赤ちゃんに感染する危険があります。万が一、その可能性がある場合は、妊婦さんに定期的に薬を内服していただくこととなります。

妊娠中の初感染予防のため

- ➡ 猫との接触に注意。猫を飼っている場合、
★糞尿処理は可能な限りの避ける。行う場合は使い捨て用手袋を使用する。処理後は必ず手洗いです。猫用トイレは毎日清掃する
- ➡ 猫以外からの感染経路
★生肉(特に豚肉)を食べない。食べるなら十分に加熱する。
- ➡ ガーデニングなど土を触るときには必ず「△手袋を付ける。その後石けんでキレイに手を洗う。実際、猫以外からの感染率の方が高いようです。

一緒にいるだけ

良い関係ができれば



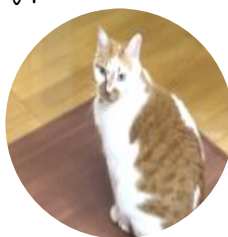
- ➡ 数年飼っている犬、猫の場合、しつけ・健康管理・信頼関係ができている場合は、ペットがいる環境で赤ちゃんを出産・子育てをすることも問題ない場合が多い。
- ➡ 赤ちゃんにペットを少しずつ慣れさせて共存させていくことが大切。
- ➡ ペットを飼いながら子育てをすることは、情面のメリットもあるといわれている。

犬と暮らす



はくくん

猫と暮らす



もりぞうさん

犬は基本的に飼い主を「自分の群れの一員」と思い、優位劣位を考えながら生活しているといわれます。「この子は群れの一員で、大よりも上位の存在だよ」と態度で示すことが必要です。小型犬など、それまで子どものようにかわいがられてきた場合は人間の第二子が生まれたときのように、赤ちゃん返りをする場合があります。「赤ちゃんもかわいければ犬もかわいよ」とわかるように接する必要があります。

子どもが好きな猫もいれば、嫌いな猫もいます。猫にとって、一番大切なのは自分のペースが確保できることです。子どもが猫に意地悪をして、猫が逃げ場を失った場合は引っ掻かれることがあるかもしれません。しかし、何もしていない赤ちゃんを猫が襲うことはありません。

「こんなところが大問題なんです。」

- ➡ ペットのトイレトレーニングができておらず、あちこちで排泄してしまう
- ➡ 飼い主をベロベロなめることを許している
- ➡ 散歩の後に足をきちゃんと洗っていない(犬)
- ➡ 完全室内飼以外の方法で飼っている(猫)
- ➡ トリミングやシャンプー、爪切り、ブラッシングを適度に行っていない
- ➡ ペットの健康管理を行っていない
- ➡ 室内のペットの毛などを、適度に掃除していない
- ➡ 人間に対して非常に攻撃的
- ➡ 飼い主と信頼関係を結べていない
- ➡ ペットがワガママし放題になっている
- ➡ 飼い主がペットの性格を理解できていない

こういった基本的なことができていない場合は、

赤ちゃんに対して不衛生な環境となり危険でもあります。妊娠期間中に訓練をして、できるようになっておく必要があります。
赤ちゃんを初めて自宅に連れ帰ったときは、ペットにも新しい家族が増えたことを伝えてあげて下さい。動物は自分より弱い立場のものを守る習性があるので、
いわれています。

風疹注意報発令



くろちゃん

首都圏を中心に、患者が急増している風疹。急性の発疹性の感染症で、2〜3週間の潜伏期間後に、発熱、発疹、頸部・耳介後部にリンパ節腫脹をきたします。

妊婦さんが風疹に感染してしまうと、お腹の中にいる赤ちゃんにもうつる危険があります。

風疹ウイルスは、患者さんの咳、くしゃみなどによって他の人うつります。うがいや手洗い、マスク等の咳エチケットを心がけましょう。パートナーが妊娠する可能性のある方、結婚を考えている方、お孫さんが生まれる可能性のある方などは、妊娠中の女性を風疹から守るため、かかりつけ医に相談することをお勧めします。

編集後記

友人のお宅の猫はいつもベビーベッドのそばで、赤ちゃんを見守るように寝そべっています。私たち大人には触られることを嫌がりましたが、子供には寛容のようでした。

家族や愛するペットと共に、心穏やかに楽しく新しい命をぐんぐんで頂ければとても幸せなことだと思います。

